

図書館だより

168



2008(平成20)年7月25日発行
編集・発行 福島県立図書館
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
024-535-3218 fax 024-536-4787
<http://www.library.fks.ed.jp/>

この夏も図書館へ！

福島県立図書館では、この夏も様々な展示や講座でみなさまのお役に立つような催しを行っています。

【展示】磐梯山噴火120年関係資料展

場所:当館・展示コーナー

期間:7月4日(金)～10月1日(水)



噴火当時の写真(当館蔵)

磐梯山はこの7月で、明治21(1888)年の噴火から120年を迎えました。災害の状況は、当時、最新の情報伝達手段であった写真、新聞等により全国へ伝えられました。今回は、当館で所蔵する噴火関連の資料を紹介し、噴火直後の惨状を伝える写真、新聞、被災する人々を描いた錦絵等、貴重な資料を展示しております。

【展示】「自由研究と課題図書」

場所:当館・こどものへや

期間:7月4日(金)～9月3日(水)



こどものへやでは、自由研究のテーマ探しや研究方法がわかる本と課題図書を集めました。お子様の夏休みの課題にお役立てください。

【展示】「地域に根差した出版活動 がんばってます、県内出版社」展

場所:当館・地域カウンター

期間:6月18日(水)～8月6日(水)

県内の出版社は、各地域の歴史や風土、経済活動、自然、観光や物産、伝統文化などさまざまな分野の出版を通して地域からの情報発信に努めています。各社のここ数年間の出版物を紹介します。貸出も致しますので、ご利用ください。



【講座】「ふくしまを知る」(小・中学生対象)

場所:当館・こどものへや、第一研修室

日時:7月26日(土)午後2時～

福島県に関するクイズや本の紹介をします。みんなで昔話を聞いたあとは、地域資料コーナーの探検もあります。

ほかにも…たくさんの講座をご用意しております

- ・「ボランティアプリセミナー」 7月27日(日)
- ・「アートなおはなしかい」 8月2日(土)
- ・「本や情報の探し方」 8月14日(木)
- ・「こどものへや探検講座」 8月16日(土)
- ・「タッチタイピング講座」 8月30日(土)

住宅地図をご存知ですか？

ぜひ、この夏も県立図書館へお越しください！

住宅地図とは、住宅と居住者が一緒に掲載されている地図帳のことです。縮尺が1:1500から1:6000と詳しく、更新も頻繁で便利なため、さまざまな用途で広くご利用いただいています。当館では、県内全市町村の住宅地図を年代別に揃えております。著作権法の範囲内(見開きページの50%以下の分量)で複写もできます。また、国土地理院の地図、路線価図等も所蔵しております。住宅地図の所蔵リストは、(図書館のホームページ 上部の「利用案内」 左側の「住宅地図」)でごらんになることができます。どうぞご活用ください。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『現代語訳 歌舞伎名作集』

小笠原恭子/著 河出書房新社 912.5/杵 083

日本の伝統芸能、歌舞伎。そのインパクトのあるビジュアルは知っていても、話の筋をちゃんとわかっている人は少ないのでは？

この本では『仮名手本忠臣蔵』『勧進帳』などの名場面を現代語訳で小説風に、そして全編通してのあらすじが段ごとに事細やかに書かれています。鑑賞の手引きや解説も付いて、初めての歌舞伎鑑賞にはぴったり。

さあさ、浴衣でもちょいとまとって、“江戸の粋”が詰まった世界に飛び込んでみようじゃありませんか。

『原色花卉病害虫百科』全7巻

農文協/編 農山漁村文化協会 627.18/乃 083/1~7

草花や木の種類ごとにかかる病気と害虫をまとめた事典です。五十音順に記載された植物の種類ごとに、冒頭イラストと巻頭カラー写真で、かかった病害虫の種類が見分けられます。次に病害虫ごとに被害や生態、防除法、農薬の使用方法などがくわしく説明されています。

1~3巻は草花、4巻はシクラメン・球根類、5巻ラン・観葉・サボテン・多肉植物・シバ、6~7巻花木・庭木・緑化樹を扱っています。

社会

『大奥学事始め 女のネットワークと力』

山本博文/著 NHK出版 210.5/牝 082

江戸の大奥を巨大な役所として位置づけ、その成立から機能、内情までをわかりやすく説明しています。

その他にも、外からの視点として「世間が見た大奥」が紹介されていて、当時の人々が見、感じていた少々スキャンダラスな大奥の世界、イメージも垣間見ることが出来ます。

本文中には現代語訳された史料が多く取り入れられていて、読みやすい一冊となっています。

『いま、働くということ』

大庭健/著 筑摩書房 366/杵 085

何のために働くのか？誰でも一度はこう自分に問いかけたことがあるのではないのでしょうか。本書では、「働くのは生きていくため」というように、仕事がたんに生きるための手段でしかなくなってしまっている現状を認識するところからスタートし、そこからより深く、「働くことの意味」についてや、「働くことと生きることのつながり」について考えています。

仕事でふと立ち止まったとき、この本とともに、働くことについてをもう一度ゆっくり考えてみてはいかがでしょうか。

雑誌・新聞

現在国会の内外で議論を呼んでいる「後期高齢者医療制度」を取り扱っている記事について、ご紹介します。

『サンデー毎日』 2008.6.8 発行 毎日新聞社 Z051/S18

「後期高齢者医療制度」まるごと大論点 - 医療版国民総背番号制が始まる!(総力特集一挙14ページ「大負担時代」がやってくる!)

『週刊朝日』 2008.5.16 発行 朝日新聞出版 Z051/S35

徹底解説 後期高齢者医療制度「6つのウソ」

『週刊金曜日』 2008.5.16 発行 金曜日 Z051/S17

米国の要求で進む医療制度「改悪」(老人を殺すな!後期高齢者医療制度)

『週刊金曜日』 2008.5.16 発行 金曜日 Z051/S17

老いた両親の暮らし(老人を殺すな!後期高齢者医療制度)

『エコノミスト』 2008.5.13 発行 毎日新聞社 Z330.5/E1

医療崩壊 後期高齢者医療制度は医療保険の債務処理スキームだ

『世界』 2008.2 発行 岩波書店 Z051/S1

高齢者医療はどうあるべきか - 後期高齢者医療制度批判(特集 医療崩壊をくい止める)

地域

『2時間で足が速くなる! 日本記録を量産する新走法 ボン・ピュン・ランの秘密』

川本和久/著 ダイヤモンド社 L782.3/K2/1

池田久美子(走り幅跳び)、丹野麻美(400メートル)、吉田真希子(400メートルハードル)ら数々の選手をトップアスリートに育て上げた福島大学陸上競技部の川本監督。

「チーム川本」の強さの秘密はどこにあるのでしょうか。大人も子供も実践できる新走法とは?丹野選手をモデルに監督がわかりやすく解説しています。

『みちのく・ふくしま 歴史文学紀行』

永塚功/著 歴史春秋社 L911/N1/1

万葉集の「安積山の歌」が記されている木簡の発見が話題を呼んでいます。滋賀県甲賀市の紫香楽宮(しがらきのみや)跡から出土したものです。

万葉の世界へ夢が広がる中、都人が憧れた歌枕の名所、みちのく・ふくしまの和歌についてまとめたタイムリーな一冊です。

『がんばっぺ! 福島県 日銀支店長の経済教室』

鉢村健/著 福島民友新聞社 L332/H1/1

著者は前日本銀行福島支店長。

「福島県経済が日本経済の縮図」と考え、「福島県の実力と課題」「地域経済」などをソフトな語り口で解説しています。福島県よがんばれ!と前支店長が県民へ送るメッセージです。